

## 安全運転を呼びかけ

### 年末の交通安全キャンペーン

12月2日、向台小入口交差点で年末の交通事故防止県民運動キャンペーンを行いました。根本市長をはじめとした参加者は、運転手や歩行者に啓発品を配布しながら、子どもと高齢者の交通事故防止や、飲酒運転の根絶、早めにライトを点灯することが事故防止につながることを呼びかけました。



## 税制改正に関する提言書を提出

### 竜ヶ崎法人会

11月22日、(社)竜ヶ崎法人会牛久地区会(海老原会長)から根本市長に「令和2年度税制改正に関する提言」が手渡されました。

提言書では、経済の再生と財政健全化を目指した歳出・歳入の一体化や持続可能な社会保障制度の確立、中小企業の税制措置拡充・事業継承税制の創設が提言されました。



## 千羽鶴で国体選手を応援

### 牛久市スポーツ少年団

令和元年9月から茨城県で開催された「第74回 国民体育大会」において、牛久市スポーツ少年団の各単位団は「茨城国体応援プロジェクト」として4年にわたり千羽鶴作成を行い、本県選手団および46都道府県選手団に応援の想いを届けました。茨城県スポーツ少年団からは、御礼として感謝状と記念品が贈られました。



## 省エネへの取り組みを呼びかけ

### 省エネ街頭キャンペーン

12月5日、環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」の推進の一環として省エネ街頭キャンペーンを実施。啓発品を配布しながら、省エネへの取り組みを呼びかけました。市民の皆さんには、引き続き冷暖房の適切な使用やエコドライブの実践などの取り組みをお願いします。



## 歳末助け合い托鉢

### 牛久市佛教会が托鉢行脚

12月6日、今年も牛久市佛教会による托鉢行脚が市内で行われ、旧国道6号や牛久駅、市役所庁舎内などで募金を呼びかけました。

募金は260,522円にのぼり、牛久市社会福祉協議会に全額寄付していただきました。この募金は、援護対象世帯への見舞金として使われました。



## 叙 勲 ～受章おめでとうございます～

「秋の叙勲」と警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では15の方が受章されました。おめでとうございます。

### ●令和元年 秋の叙勲

#### 旭日小綬章

板倉 宏 (元牛久市議会議員)

#### 瑞宝双光章

石井 信三 (元国土交通省鉄道局都市鉄道課都市鉄道整備促進対策室長)

### ●第33回 危険業務従事者叙勲

#### 瑞宝双光章

茂木 敏男 (元2等海佐)

片桐 修 (元警視庁警部)

紺野 利雄 (元警視庁警部)

#### 瑞宝単光章

景平 三郎 (元警視庁警部)

川畑 昭雄 (元警視庁警部)

長谷川 弘 (元警視庁警部)

柚原 一雄 (元警視庁警部)

中野 晃 (元東京消防庁消防司令補)

※掲載の許可をいただいた方のみお名前などを掲載しています。(敬称略)

## 交通ルールを守ります

牛久幼稚園の園児が交通安全教化員に感謝

交通安全教化員は、交通安全や防犯について子どもたちに教える活動を行っています。牛久幼稚園の子どもたちは、11月25日、交通安全教化員に感謝の気持ちを伝えるため市役所を訪問。大きな声で「交通ルールをしっかりと守って元気に過ごします」とお約束し、手作りの作品をプレゼントしました。



## 牛久の魅力を詰め込んで

ウシクリスマスフェスタ2019

牛久の魅力をPRし、牛久のブランド向上を目指すイベント「ウシクリスマスフェスタ」。12月1日にあみプレミアム・アウトレットで開催され、クリスマスの雰囲気にもまれた会場はたくさんの人で賑わいました。「昨年も来て、今年も楽しみにしていました」と話すお客様もいて、開催2回目にしてリピーターが数多く訪れていました。さらに「牛久ファン」を増やしていきたいですね。



## 牛久で育む異文化交流

牛久市国際交流協会 冬の交流会

牛久市国際交流協会日本語部会主催「冬の交流会」が11月30日、総合福祉センターで開催されました。日本語教室のボランティア講師と学習者やその家族など約80人の参加者で賑わいました。お茶会と学習者による歌、そして牛久栄進高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露されました。



▲書道作品は市役所本庁舎2階ロビーに1月10日まで展示しています。

しあわせをよぶ  
レシピ

毎月19日は食育の日 楽しくおいしい食生活をめざしましょう

問 健康づくり推進課(市保健センター内) ☎内線1744

## お煮しめで焼きコロッケ

お正月の定番料理を大胆にリメイクしました。



1人分176Kcal 塩分1.1g

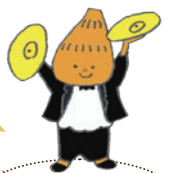
### 材料 (2人分)

お煮しめの残り ……200g	サラダ油……………大1
小麦粉……………小1と1/3	<つけあわせ>
卵……………1/5個	キャベツ……………1枚半
パン粉……………大3強	ミニトマト……………6個

### 作り方

- ①お煮しめの残りを電子レンジ600wで1分加熱する。
- ②①の里芋はつぶし、それ以外は粗みじん切りにする。
- ③②を混ぜ合わせて4等分にして丸く平らに形を整え、小麦粉→卵→パン粉の順に衣をつける。  
※生地が軟らかいため、焼く直前に手早く作業する。
- ④フライパンに油を入れ弱火で焼き色がつくまで焼く。
- ⑤付け合わせに、キャベツの千切りとミニトマトを添える。

里芋を使ったお煮しめが残った時に作ってみてね。



### 一口メモ

里芋は腸内環境を整える食物繊維を豊富に含んでいます。洗って乾かしてから皮をむくとぬめりが気になりません。

牛久市食育推進のための野菜キャラクター「USHIKU野菜オーケストラ」 taroバルくん

FMうしくうれしく放送(周波数85.4MHz)で、平日正午から「USHIKU野菜オーケストラ」レシピを放送しています!

このレシピは「食と健康の応援団」ヘルスメイト(食生活改善推進員)が作成しました。

## 全国大会銀賞受賞・歌声を披露

牛久第一中学校混声合唱団

「第72回全日本合唱コンクール全国大会中学校部門混声合唱の部」において、牛久第一中学校混声合唱団が見事銀賞に輝きました。同合唱団は12月3日、牛久市役所で歌声を披露。その後、代表生徒が根本市長を表敬訪問し、「皆さまの応援のおかげで、全国大会で素晴らしい賞をいただくことができました。感謝の気持ちを今日の歌声で表現しました」と銀賞受賞の喜びを語ってくれました。



牛久市役所での合唱を牛久市公式YouTubeチャンネルで公開中。ぜひお聴きください。



## 地元生産者さんに感謝

学校給食「和食の日」

11月22日、日本の文化「和食」の魅力を子どもたちに再認識してもらおうと「和食の日」給食が各市立小中学校などで行われました。この日、向台小学校では地元産の野菜を使った献立が提供されたほか、給食に野菜を提供している生産者の栗山壮史さんと矢口まさたか仁崇さんを招待し、作っている野菜の話しながら給食を楽しみました。子どもたちは「野菜が一番おいしい」と話していました。



## 書く楽しみ、もらう喜びを

「サンキュー年賀」寄贈

手紙の温かさや喜びを体験してもらうらおうと、市内企業等の協賛のもと、市内郵便局から「年賀状」が小学生に贈られました。香口多加志本牛久郵便局長は「この年賀状をきっかけに、はがきを書く楽しみを感じてもらえたら」と子どもたちにメッセージを送りました。



## ドッジボールで全国へ

選抜選手が表敬訪問

第6回全日本女子総合選手権（ドッジボール）への出場を根本市長に報告のため、県南選抜チーム「Empress」の齊藤菜さん、鈴木彩寧さん、橋爪百那さん（共に牛久ソウルアタッカーズ所属）が表敬訪問をしました。3人は「全力で優勝を目指します」と意気込みを語りました。



## バナアツへ支援

支援金で新施設の設置へ

2015年のサイクロン被害の際、市内で寄せられた支援金で再建した牛久第二小学校と交流のあるバナアツのマンガリリュ小学校で、その支援金をもとにトイレが新設されました。当市出身親善大使、相川梨絵さん出席のもと友好の証としてプレートを掲げ、セレモニーが行われました。



## 令和初の「LEGAME」できました

購入はお早目に！

牛久産ぶどう100%のワイン「LEGAME」が12月15日から発売されています。「LEGAME」はイタリア語で「絆」。うしくグリーンファームで栽培されたぶどうを、姉妹都市・常陸太田市の檜山酒造で醸造しています。今年は1,220本を1本2,500円(税込)で販売。うしくグリーンファームの他、下記「レガーマの会」でも取り扱っています。数量限定につき、ご購入はお早目にどうぞ。（問 うしくグリーンファーム ☎875-1333）

レガーマ  
取扱店

- ・うしくグリーンファーム(久野町1496-1)
- ・レガーマの会(下記50音順)  
イケノベ、タマノ酒店、天満屋酒店、南部珈琲、(有)松蔵屋





## 美術と音楽のコラボレーション

### 第25回うしく現代美術展

うしく現代美術展は、地元の作家を中心に市民・行政が連携して開催する地域に根ざした美術展です。今年は11月17日から12月1日まで中央生涯学習センターで開催し、57人の作家が「25年目のいま」をテーマに作品を展示発表しました。

今年は25周年記念企画としてナイトミュージアムを開催し、うしく音楽家協会によるコンサートも開かれました。作品に囲まれながらのコンサートは、演奏中でもアートを自由に鑑賞できる試み。後藤雅宣実行委員長は「音楽を聴く前と聴いたあとで、見方がどう変わるのか実験にお付き合いください」とあいさつし、多くの来場者がコンサート後、音楽の余韻に浸りながら作品を鑑賞していました。



## 牛久の花「菊」 新品種の名称決定

### 「第10回うしく菊まつり」新品種の菊

11月1日から10日まで開催された「第10回うしく菊まつり」の会場で、市内在住で菊栽培の指導などを行っている園芸家の上村遙さんによる新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。

応募総数は140通にのぼり、その中から以下の名称に決定しました。



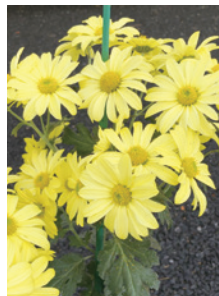
牛久ワイン

命名者

五月女 祐球さん  
(土浦市)



令和の秋



令和イエロー

※命名者は合計3人。掲載許可をいただいた方のみ掲載しています。

## 光り輝く牛久の夜

### 第14回ブリアントヴィルうしく

12月7日、牛久駅周辺を彩る「第14回ブリアントヴィルうしく」の点灯式がJR牛久駅東口やっぺやっぺ広場で行われました。今年は「光のステージ」と題し、たくさんの電球が牛久駅を彩りました。

また、点灯式当日はキッチンカーやクリスマスマルシェ、ライブ演奏のほか、ぶどう園通り商店会による「とてつもない大抽選会」が行われ、冬空の中多くの人で賑わいました。イルミネーションは2月16日まで行われます。



冬鳥として河川・湖沼や調整池などに群れで渡来する大型のカモで、メスは地味な黒褐色のまだら模様ですが、オスの白っぽい体と黄色のくちばしは遠くからも目立ちます。古くから狩猟の対象とされ、金属光沢のある緑色の頭部から「青首」との呼び名もあります。鳴き声は「ガー、ガー」で、人になつきやすい性格からアヒルの原種となっています。よく観察すると、繁殖期のオスは中央の尾羽が上方にくるりとカールしています。



しぜん大好き  
マガモ(真鴨)

カモ目カモ科